

魚津高校の取組みについて

(国の拠点類型：理数系人材育成支援)

富山県教育委員会 教育みらい室（高校教育充実強化担当）

魚津高校

(魚津市吉島945番地)

- ・ 普通科 4 クラス／学年
- ・ 生徒在籍数

学年	男	女	計
1	85	67	152
2	88	70	158
3	85	73	158
計	258	210	468



魚津高校の講堂は国の登録有形文化財（建造物）に登録されています。



- 理数的素養を持つ人材育成に向け、普通科高校における教育課程・指導体制の見直しが求められている。
- 探究活動を核とした文理融合型の教育を実現するための、物的・人的環境の整備及び外部連携体制の構築が必要。
- ➡ 理数的素養を備えた人材を輩出できるよう、「3年次からの文理分けを前提としたカリキュラムの開発」、「文理融合型の探究活動の推進」などにより、理数系重視の入口から出口までの一体改革による質的転換で、理数系人材の裾野を広げ高みを目指す普通科高校のパイロットケースの創出・普及に取り組む

人材育成の現状・課題

- 医薬・バイオや半導体関連などの県基幹産業との接続強化
- 将来を見据えた文理選択により社会が求める「文理融合型」人材の育成
- 理系学部に進学し、高度な専門知識を習得した理系人材の育成
- 理数的素養を持つ人材育成のための教育課程・指導体制の再構築

具体の事業内容

【拠点における主な改革目標】

- ①大学理系学部進学者割合 R⑦ 49.3% R⑩ 55% R⑬ 65%
- ②「科学技術に対する肯定感・効力感を感じている」生徒割合
R⑩ +10pt R⑬ +20pt (R⑧調査比)

【取組内容・創出するパイロットケース】

(教育改革の内容)

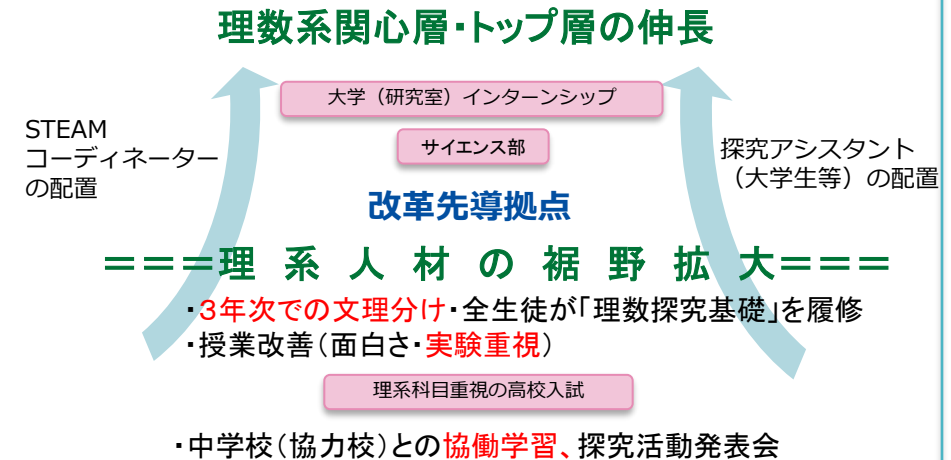
- ・フェーズ1：全生徒の理系的資質の開発のためのカリキュラム・マネジメント
- ・フェーズ2：理系分野に対する興味・関心が高い生徒に向けた取組の強化
⇒ 理数系人材の裾野拡大、更なる理数系資質の開発

(施設・設備の整備)

- ・探究棟の整備、普通教室の改修
- 「バイオ・環境ラボ」、「探究ルーム」、問いを立てる場所としての図書館
⇒ 文理融合型探究活動を核とした学びの質的転換

【他校への普及方策】

- ・授業・講義・教員研修の他校への公開
- ・協力校等との協働学習や生徒主体の成果発表会



実施体制

協力校	魚津市立東部中学校、魚津市立西部中学校
主な連携機関 等	富山大学、富山県立大学、関係自治体、関係事業者団体等

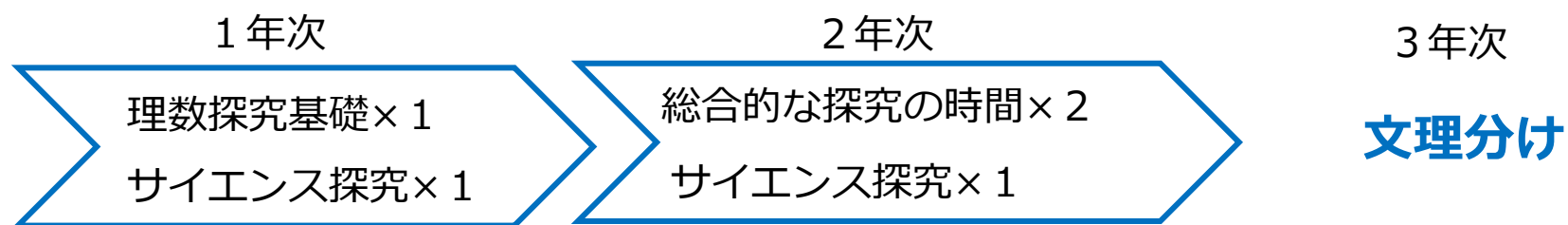
目指す成果

- 地域・産業界が求める理数的素養を持つ人材を輩出
- 文理融合の思考力を持つ人材を育成
- 県全体の進学指導の質的転換
- 理数系重視モデルの県内他校への普及
- 産学官連携の高校探究教育モデル創出

取組みの概要

1 全生徒の理系的資質の開発のためのカリキュラム・マネジメント

3年次からの文理分けを前提とした教育課程、1・2年次の探究活動を拡充



STEAMコーディネーター配置：授業計画の立案、大学・企業等との調整
探究アシスタント配置：大学生、大学院生等による探究活動への支援

理数探究基礎

探求活動の基本的な知識・技能（AIやデータサイエンス等）に関する講義・ワークショップ、フィールドワーク等

サイエンス探究

様々な社会問題への解決に向けた科学的アプローチや最先端の科学技術に関する講演・ワークショップ等

総合的な探究の時間

文系テーマに対する理系アプローチ・解決など文理融合型探究活動、ゼミ形式の少人数指導

→ 大学、企業、自治体等から講師、伴走者・助言者等を招聘

取組みの概要

2 理系分野に対する興味・関心が高い生徒に向けた取組みの強化

(1) 高等教育機関等へのインターンシップの実施

長期休業中に大学等に1週間程度通い、学術研究や最先端の研究テーマ、観察・実験器具など理工系学科の学びを体験

(2) 科学系部活動「サイエンス部」の新設

科学への好奇心と探求心を高めるため、部活動を設置し、大学や民間企業等からの指導・助言も得ながら、科学甲子園などの全国大会を目指すなど高度な研究活動を充実

(3) 入学者選抜における理数系科目重視型選抜の検討

学力検査の各教科の配転が、通常の配点による選考に加え、志願者が選択して出願できるよう、理科・数学・英語の配点に傾斜をかけた理数系科目重視型選抜の設定を検討

3 文理融合型探究活動を核とした授業を支える施設の整備

(1) 探究棟の整備

(2) 特別教室等の改修

取組みの概要

4 推進体制

(1) 魚津高校理数系人材育成推進プロジェクト会議

学校、県教委、大学、地元産業・行政関係者等による定期的な会議

→ インターンシップ、探究活動、講演会・ワークショップ等について、計画的・継続的に協議

(2) STEAMコーディネーター、探究アシスタントの配置

STEAMコーディネーター：授業計画の立案、大学・企業等との調整

探究アシスタント：大学生、大学院生等による探究活動への支援

5 取組み・成果の他校への普及

(1) カリキュラム改革、探究活動の知見・ノウハウを他校と共有

(2) 協力校との連携・協働

魚津市立東部中学校・西部中学校

- ・「探究棟」での観察・実験器具の共同活用（中学校での授業等で利用）、協働学習（探究活動、観察・実験）
- ・探究活動の成果発表会への招待、ポスターセッション・プレゼン等を通して交流 等

取組みの概要

6 改革の目標

指 標 例	現状（R7）	R10目標	R13目標
理数系科目に関心がある生徒の割合（1年生）	41.5%	50%	65%
科学技術に対する肯定感・効力感を感じている生徒の割合（2年生）	R⑧に調査	R⑧から + 10pt	R⑧から + 20pt
大学理系学部進学者割合	49.3%	55%	65%

7 目指す成果

- ・ 地域・産業界が求める理数的素養を持つ人材を輩出
- ・ 文理融合の思考力を持つ人材を育成
- ・ 県全体の進学指導の質的転換
- ・ 理数系重視モデルの県内他校への普及
- ・ 産学官連携の高校探究教育モデル創出